

科名 血液内科 血内223  
 対象疾患名 悪性リンパ腫  
 プロトコール名 GDC療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ	↓					↓				
2	点滴注	側管	デキサート グラニセロンバッグ	33mg 1mg	30分かけて	↓									
3	点滴注	側管	デキサート 生食	33mg 50mL	30分かけて		↓	↓	↓						
4	点滴注	側管	デキサート 生食	6.6mg 50mL	30分かけて						↓				
5	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	必ず30分かけて	↓					↓				
6	点滴注	側管	カルボプラチン 5%ブドウ糖	AUC5 250mL	1時間かけて	↓									

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

6コースまで

・day2-4のデキサートは、デカドロン40mgの内服でも可。

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。

・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。

・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。

・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

<カルボプラチン>

投与中は十分な補液を行なうこと